

★ドキュメンタリー映画上映・監督トーク★



たたかいつづける女たち

～均等法前夜から明日へバトンをつなぐ～

★ 山上千恵子監督をお招きして ★

1984 年、男女雇用機会均等法制定を前に雇用平等法の要望書をバトンに、労働省までクリスマスイブの街をリレーで走った女たちー。

30 年の時を越え、雇用形態が多様化する中で、今も続く差別と戦っている。男女平等を願い、行動した女たちの活動記録が現代に語りかけるドキュメンタリーです。



(日本 / 2017 年 / 71 分)

あいち国際女性映画祭 2017 国内招待作品

【講師】

山上 千恵子 さん

80 年代からビデオ制作を始める。2001 年、自主制作「ディア ターリ」第 3 回ソウル国際女性映画祭アジアコンペで観客賞受賞。〈女たちの歴史プロジェクト〉を立ち上げ、メディアで取り上げられにくい女性運動、歴史、文化などを女性の視点で描く作品を作る。2004 年「30 年のシスターフッド～70 年代ウーマンリブの女たち」(共同監督 瀬山紀子)はアメリカツアー、11 大学などで上映&トーク、2011 年「姉妹よ、まずかく疑うことを習え～山川菊栄の思想と活動」、2013 年「潮風の村から～ある女性医師の軌跡」制作。作品はあいち国際女性映画祭をはじめ、韓国、台湾、トルコ、アルメニアの女性映画祭などで上映される。今回の作品は山川菊栄に続く女性労働をテーマにした作品。

【監督トーク 聞き手】： 田上時子(NPO 法人女性と子どものエンパワメント関西理事長)



【日時】 6月30日(土) 14:00～16:00

- ☆ 会場：宝塚市立男女共同参画センター
- ★ 対象：テーマに関心のある方 40 人
- ☆ 保育：10 人(1歳～就学前まで) 無料 要予約
- ★ 申込み：5月7日(月) 9:00～ 電話 または 窓口で受付
宝塚市立男女共同参画センター (0797-86-4006) へ
** センターの HP から申し込みが出来ます **

参加費
無料

主催 宝塚市立男女共同参画センター・エル

宝塚市指定管理者

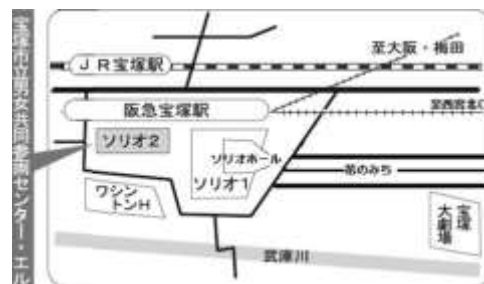
NPO 法人 女性と子どものエンパワメント関西

宝塚市栄町 2-1-2 「ソリオ 2」4 階

電話：0797-86-4006 FAX：0797-83-2424

<http://www.takarazuka-ell.jp/>

(駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください)



たたかいつづける女たち

～ 均等法前夜から明日へバトンをつなぐ～

なぜ女たちはたたかいつづけるのか？

’80年代、均等法をたたかった女たちと今この時代に生き働く女たちからの証言から描き出すドキュメンタリー。



2017年ウィメンズデイに参加のACW2



大阪市立大学名誉教授 竹中恵美子さん



雨の日も風の日も介護の仕事に駆け回る日々

(写真：映画「たたかいつづける女たち」より)

★ 映画に寄せられたコメント ★

木村昭子

(全国フェミニスト議員連盟世話人)

1980年代の雇用機会均等法の前後から今もってたたかいつづける女性たちの歴史と今が、多くの女性たちのインタビューで描かれていました。女性たちの運動の歴史を知るだけでなく、これからの女性運動につながる映画です。

伊藤みどり

(働く女性の全国センター・ACW2)

保護も平等も求めた女たちの歴史の映像は圧巻だ。その後、均等法が成立し、女たちの分断・格差が広がった歴史の生の証言だけで構成される。今まで公的に語られている歴史ではない、我が身に体験してきた歴史が浮き彫りにされた。今の貧困、格差が広がった原因は何か？

イブリブリレーのような肩書き抜きでみんなが平等にものを言えた運動は今、どうなったのか。バトンを受けた女たちは、今もあがきながら生きている。